

「負の遺産」

教育研修部 山崎 宣明
YAMAZAKI NOBUAKI

令和の年が明け、新しい時代のスタートと言った感がありましたが、新型コロナウイルスによる感染が日本、全世界で拡大し、トウキョウ 2020 オリパラも延期となってしまいました。一日も早い終息を願うばかりです。

このような不測の事態、リスクに対しては、正確な情報を把握し、予測・評価し、迅速に対応するなどリスク管理の重要性を改めて認識させられます。

廃棄物や環境の関係でも平成の 30 年間で振り返ると様々な問題、リスクにさらされました。阪神・淡路、東日本大震災をはじめとした震災・豪雨に伴う災害廃

棄物、放射性汚染、PCB、ダイオキシン、アスベスト…。

これらの課題に大なり小なり関わってきましたが、このうち、まさに負の遺産として、長期間残されてきた PCB 廃棄物の処理が、やっと最終コーナーを回り追いつみになってきました。

昭和 47 年の製造禁止、平成 13 年の PCB 特別措置法の制定からも長い年月が経ちました。この負の遺産の期限までの処分に向けて、講習会などを通じて PCB 廃棄物の掘り起こし、適正処理の推進などに少しでもお役に立てればと思います。

編集後記

新年度を迎え、電子マニフェスト事業、教育研修事業の 2 つの事業を柱に、各事業を推進してまいります。特に電子マニフェスト事業については、「2022 年度までに電子化率を 70% にする」の政府目標達成に向け、昨年度同様に、電子マニフェストの利用が進んでいない業種への普及活動に取り組んでいます。

今号では青森県の建設業に携わる方々にお集まりいただき、電子マニフェストの導入・運用紹介、課題・要望等をテーマに開催しました座談会を掲載しています。電子マニフェスト未加入の方の導入・運用のご参考になれば幸いです。

「産廃クローズアップ」では山梨罐詰株式会社の「食品廃棄物のリサイクル促進のためのバイオガス発電プラント」取材いたしました。

「行政のうごき」では、山梨県より産業廃棄物適正処理推進ビジョンと関係事業についてご紹介いただいています。

ご多忙の中、記事をお寄せいただいた執筆者の皆様、取材や編集にご協力いただいた皆様、本誌を読んでくださった読者の皆様に心から感謝申し上げます。

(菅野)

■ 本誌に関する連絡先: 総務広報室 (e-mail: jigy@jwnet.or.jp)

〈アンケートへのご協力のお願い〉

より充実した誌面作りのために、本誌の記事内容等に関する読者アンケートを当センターホームページ(以下の URL)に掲載しています。本誌に関するご意見。ご要望を是非、お聞かせください。

URL https://www.jwnet.or.jp/info/kikansi/kikansi_anq/index.html

JWセンター情報(季刊) VOL.20 NO.1 発行日: 2020年4月15日発行 発行人: 関 荘一郎

発行所: 公益財団法人 日本産業廃棄物処理振興センター

〒102-0084 東京都千代田区二番町3番地 麹町スクエア7階

TEL: 03-5275-7111 FAX: 03-5275-7112 <https://www.jwnet.or.jp/>

デザイン・印刷: 株式会社文洋社